

第41回インナーゼミナール大会

研究計画書

ゼミ名	石川ゼミⅡ	チーム名	ろこちる
タイトル	社会のニッチを救うには？		
テーマ群	c)公共経済		
メンバー	坂元 成・豊浦 大智・岡澤 佑哉・岡崎 良斗・坂本 智章 櫻井 洋明・川上 潤・林 大輔・西川 達郎・原田 直信・齋藤 伸公 日高 有希・村上 友里恵・和田 悠佳・伊藤 結香・内海 真希 大平 麻未・金田 亜弓・中岡 麻奈・小嶋 沙苗・西中 美結・間 明香		
研究計画内容	<p>私たちは「新しい公ってなんだろう？」という大きな課題を考えて活動してきました。</p> <p>その中で私たちは「社会のニッチ」という言葉に出会いました。</p> <p>「社会のニッチ？」と思う方が大半であると思います。しかし、これは私たちが今後見逃してはいけないことです。私たちがこの地域に、日本に住む以上考えていかななくてはならない課題なのです。では「社会のニッチ」とはなんなのか。</p> <p>今も昔も政府は平等主義、民間は市場主義です。このため政府にも民間にも「救えてない」ものがあります。このことを「社会のニッチ」というのです。</p> <p>ではどういった人のこと？また、その人を助けるために何かやっているの？政府でも民間でもない団体とは？といった疑問ができました。そこで「社会のニッチ」をテーマに決め活動してきました。</p> <p>石川ゼミは、石川先生を筆頭にとても明るく元気で活気のあるゼミです。私たちはいかに面白く、楽しくでも真面目に、初めて聞く人でもわかりやすいプレゼンをできるかにこだわってきました。</p> <p>「社会のニッチ」はみなさんがあまり耳にしない言葉であると思います。しかし、石川ゼミならではの表現でわかりやすくお伝えし、みなさんの社会に対する意識を変えてみせます。</p> <p>石川ゼミ22人全員でこのインナーゼミナール大会のために役割分担を考え、取り組んできました。期間が短く厳しい状況でしたが、石川ゼミのベストをつくしましたので、ぜひ石川ゼミの発表に足を運んでください。</p>		